

## 第2次隠岐の島町総合振興計画策定に関する職員研修会報告書

### 1. 開催概要

#### (1) 目的

新たなまちづくりの計画を描く上で、まずは、町職員自身がどのようなまちになることを望み、何を大切にすべきかを考え、共有することが大切との考えから、全職員を対象とした研修を実施し、今後の隠岐の島町のあるべき姿を検討する。この過程を通じて、町民の皆様との協働によるまちづくりの必要性を理解するとともに、対話の進め方についての理解向上、技術習得を図り、次年度以降に予定する地区別町民意見交換会の開催につなげることを目的とする。

#### (2) 日時・場所

##### ①第1回

平成31年3月5日 13:30～16:30 会場：隠岐島文化会館2階 集会室

##### ②第2回

平成31年3月6日 9:00～12:00 会場：隠岐島文化会館2階 集会室

#### (3) 参加人数

①第1回：72人

②第2回：80人

#### (4) ファシリテーター

講師：田坂逸郎氏

田坂 逸郎氏



ファシリテーター（※） / マーケティング・プロデューサー

広島修道大学人文学部 / ひろしま未来協創センター講師

福岡大学エクステンションセンター非常勤講師

広告代理店を経て、クリエイティブ・ディレクター、マーケティング・プロデューサーとして独立。自治体マーケティングへの傾注から、「市民と行政」「消費者と企業」「企業や公共機関の組織内」をつなぐ「ファシリテーション」の分野へ。

日本ファシリテーション協会では、九州支部長、監事を歴任。

年間 450 回以上の会議やワークショップなどのファシリテーターを務める。

※ファシリテーター：集会・会議などで、テーマ・議題に沿って発言内容を整理し、発言者が偏らないよう、順調に進行するように口添えする役。議長と違い、決定権を持たない。

## (5) プログラム

### ①第1回職員研修(3月5日)

| 時間          | 内容                                            |
|-------------|-----------------------------------------------|
| 13:30~14:00 | 開会<br>趣旨説明<br>町民アンケート調査概要報告<br>導入(田坂ファシリテーター) |
| 14:02~14:30 | バズセッション(6人前後でグループ討議)                          |
| 14:30~14:50 | 第1ランド<br>ワールドカフェのテーマ「隠岐の島でほんとうに大事なこと」         |
| 14:50~15:20 | 第2ランド<br>席替えをして話題を混ぜ合わせる(印象に残ったことを取り出す)       |
| 15:20~15:38 | 第3ランド<br>席替えをして話題を混ぜ合わせる(本当に大切なことを取り出す)       |
| 15:38~15:50 | 第4ランド<br>最初の席に戻ってお土産話をする                      |
| 15:50~16:05 | 収穫ラウンド<br>キーワードを取り出し張り出す                      |
| 16:05~16:25 | ファシリテーターからのまとめ                                |
| 16:25~16:30 | 主催者あいさつ<br>閉会                                 |

### ②第2回職員研修(3月6日)

| 時間          | 内容                                            |
|-------------|-----------------------------------------------|
| 9:00~9:30   | 開会<br>趣旨説明<br>町民アンケート調査概要報告<br>導入(田坂ファシリテーター) |
| 9:30~9:41   | バズセッション(6人前後でグループ討議)                          |
| 9:41~10:02  | バズセッション(6人前後でグループ討議)                          |
| 10:02~10:26 | 第1ランド<br>ワールドカフェのテーマ「隠岐の島のこれまでと、これから」         |
| 10:26~10:52 | 第2ランド<br>席替えをして話題を混ぜ合わせる(印象に残ったことを取り出す)       |
| 10:52~11:14 | 第3ランド<br>席替えをして話題を混ぜ合わせる(本当に大切なことを取り出す)       |
| 11:14~11:30 | 第4ランド<br>最初の席に戻ってお土産話をする                      |
| 11:30~11:40 | 収穫ラウンド<br>キーワードを取り出し張り出す                      |
| 11:40~11:50 | ファシリテーターからのまとめ<br>会場からの意見                     |
| 11:50       | 主催者あいさつ<br>閉会                                 |

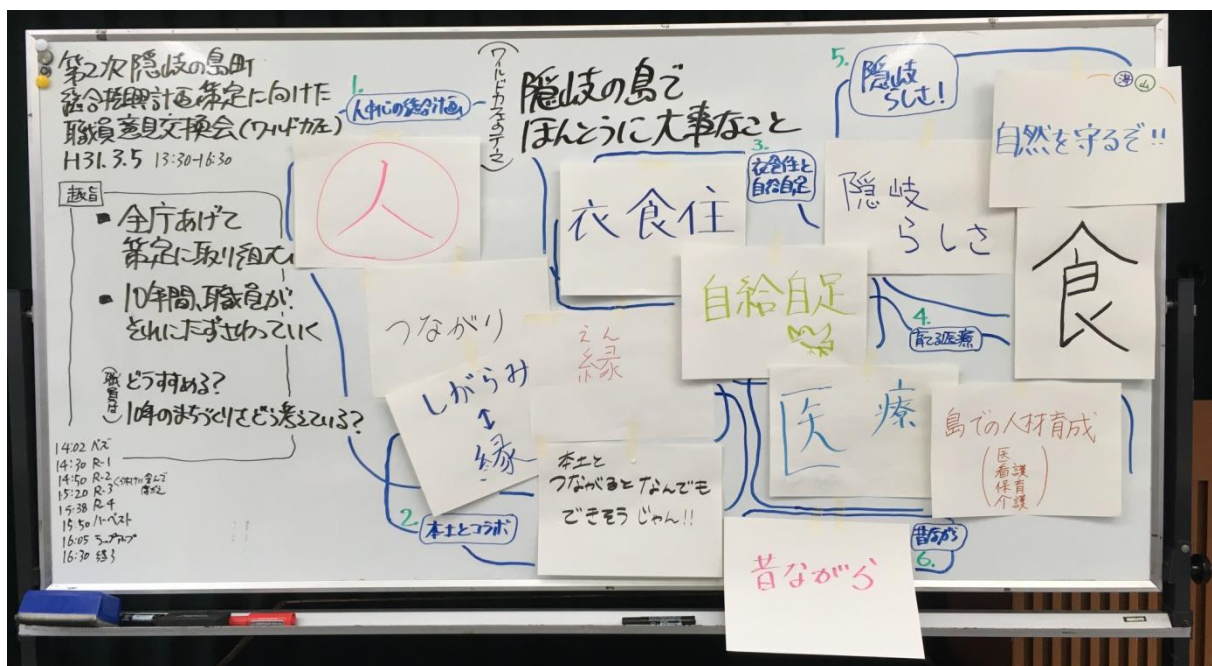
## 2. ワールドカフェを通じて収穫されたもの

### (1) 第1回：「隠岐の島でほんとうに大事なこと」

新たなまちづくりの指針となる総合振興計画の策定にも通じる6つの重要なキーワードが整理された。

ファシリテーターの田坂氏より、計画には「0を1にするもの」「1を10にするもの」「10を99にするもの」「99を100にするもの」の4種類がある。特に、「0を1に」「1を10に」することが社会のニーズが高い。ひとりでは実現が困難なものを対話を通じて、仲間の輪を広げていくことが大切であるとのまとめがあった。

- ① 人中心の総合計画：インフラ・安全・コミュニティの順に語られることが多いが、その先が求められる。イノベーションは、技術や市場の変化に応じて新たな「意味」を見出すもので、それぞれの役割は変化する。島に住む人、島外に住む人の役割も変化する。「つながり・しがらみ・縁」がキーワード。
- ② 本土とのつながり：「本土とつながると何でもできそうじゃん!!」の実現に向けて、「何でつながるか?」が重要。
- ③ 衣食住と自給自足
- ④ 育てる医療：自分たちが必要とする人材を島内で育てることで確保する。
- ⑤ 隠岐らしさ：自然を守ることや、「食」を活かすことで隠岐らしさを大切にする。
- ⑥ 昔ながら・残したい隠岐の島を大切に、新しいもの活かす姿勢が大切。



## (2) 第2回：「隠岐の島のこれまでと、これから」

総合計画の策定に向けた5つの重要なキーワードが整理された。

参加者からワールドカフェの手法を用いることで声の大きな人の意見のみならず、皆の意見を聞き出す上で有効であるとの意見が見られた。担当部署のみならず、各部署それぞれが参加し、また、町民の皆様を巻き込んだ計画づくりを進めるうえでの良いスタートとなる機会を持つことができた。

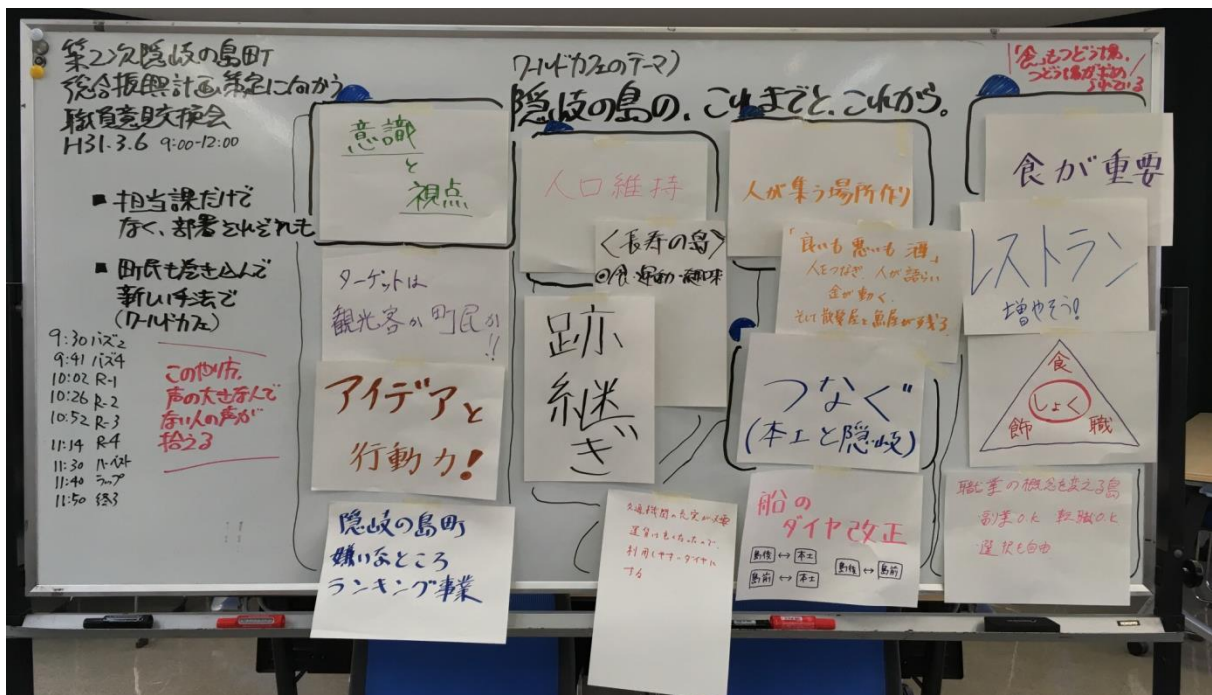
①意識と視点：まちづくりのターゲットは観光客の方か町民の皆様か？「オーバーツーリズム」という言葉もあるように、1万人のまちに必要な観光客とは何かを考えることも重要。「アイデアと行動力」が増すような計画づくり。アイデアが出やすく、行動する島へ。隠岐の島町の嫌いなところランキング。

②人口維持：「長寿の島」の実現に向け、スマホアプリを使った独自の指標ができる面白い。跡継ぎ問題を考える上で、そもそも血縁が跡を継ぐ必要があるのか、という視点に立った知恵と行動も有効。

③人が集う場所：人が集まり、語らい、飲食を共にすることで島内の経済循環が高まる。

④つなぐ：船や公共交通機関のダイヤ改正等を通じた本土と隠岐のつながりづくり。

⑤しょく（食・職・飾）：集う場としての「食」が「飾」につながり、関連する職業にもつながる。副業、転職など既存の職業の概念に捉われない、隠岐の島町ならで職業を考える。





### 3. 実施風景

